

令和3年4月臨時会 総務文教常任委員会記録

令和3年4月27日（火）

場所：鳥栖市議会 第1委員会室

目 次

令和3年4月27日（火）	5 頁
--------------------	-----

令和3年4月臨時会日程

日 次	月 日	摘 要
第1日	4月27日(火)	<p>審査日程の決定</p> <p>総務部審査 議案乙第15号 〔説明、質疑〕</p> <p>企画政策部審査 議案乙第15号 〔説明、質疑〕</p> <p>教育委員会事務局審査 議案乙第15号 〔説明、質疑〕</p> <p>議案審査 議案乙第15号 〔総括、採決〕</p>

4 月臨時会付議事件

1 市長提出議案

[令和 3 年 4 月 27 日付託]

議案乙第 15 号令和 3 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 3 号）

[可決]

[令和 3 年 4 月 27 日委員会議決]

令和3年4月27日（火）

1 出席委員氏名

委員長 中村直人

副委員長 久保山博幸

委員 森山林

委員 久保山日出男

委員 尼寺省悟

委員 中川原豊志

委員 伊藤克也

2 欠席委員氏名

なし

3 説明のため出席した者の職氏名

総務部長 石丸健一

総務部次長兼総務課長兼選挙管理委員会事務局長 緒方守

総務課長補佐兼庶務防災係長 古賀庸介

総務部次長兼財政課長 姉川勝之

財政課長補佐兼財政係長 秋山政樹

企画政策部長 松雪努

総合政策課長兼まち・ひと・しごと創生推進室長 向井道宣

総合政策課政策推進係長兼まち・ひと・しごと創生推進室地方創生推進係長 有馬豊和

総合政策課長補佐兼企画推進係長兼まち・ひと・しごと創生推進室長補佐 田中大介

情報政策課長 山本英規

情報政策課長補佐兼情報政策係長 廣重浩三

情報政策課長補佐兼広報統計係長 徳淵英樹

教育長 天野昌明

教育部長 小柳秀和

教育部次長兼教育総務課長 青木博美

教育総務課長補佐兼総務係長 立石光顕

教育総務課教育支援係長 辻亮子

4 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主査 大塚隆正

5 日程

審査日程の決定

総務部審査

議案乙第15号令和3年度鳥栖市一般会計補正予算（第3号）

〔説明、質疑〕

企画政策部審査

議案乙第15号令和3年度鳥栖市一般会計補正予算（第3号）

〔説明、質疑〕

教育委員会事務局審査

議案乙第15号令和3年度鳥栖市一般会計補正予算（第3号）

〔説明、質疑〕

議案審査

議案乙第15号令和3年度鳥栖市一般会計補正予算（第3号）

〔総括、採決〕

6 傍聴者

なし

7 その他

なし

款 16 国庫支出金、項 2 国庫補助金、目 1 総務費国庫補助金、節 1 総務管理費国庫補助金 1 億 8,801 万 7,000 円でございますけれども、これにつきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を受けるものでございまして、新型コロナウイルス感染症の情報発信事業、それから、応援クーポン券発行事業及びホームゲーム感染症対策事業に充当するものでございます。

歳入につきましては、以上でございます。

山本英規情報政策課長

次に、歳出について御説明申し上げます。

委員会資料 3 ページをお願いいたします。

款 2 総務費、項 1 総務管理費、目 3 広報費、節 12 委託料につきましては、新型コロナウイルス感染症情報発信事業委託料として 453 万 8,000 円を計上しております。

令和 3 年 4 月市議会臨時会予算説明関係資料、令和 3 年 4 月補正予算主要事項説明書の 2 ページをお願いいたします。

事業の内容といたしましては、九州朝日放送、KBC が提供する地上デジタルデータ放送地域発信サービス「d ボタン広報紙」に市の専用ページを設け、特にインターネット環境がない高齢者などに対して、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報をテレビの画面に表示させ、情報をリアルタイムで伝達するものでございます。

以上、議案乙第 15 号令和 3 年度鳥栖市一般会計補正予算（第 3 号）のうち、企画政策部関係についての説明を終わります。

中村直人委員長

執行部の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。

尼寺省悟委員

地方創生臨時交付金、この件について質問したいんですが、実は、前の議会の説明、これ財政課長さんが言ったことなんで、直接財政課長に聞こうと思ったけれども、総務のほうでこれが入ってなかったんで、こここのところで聞くけれども、少なくとも彼はそのときにこんなふうに言われたんですよ。

地方創生臨時交付金が 1 億 8,000 万円ほどあり、本省繰越という制度を活用して、来年度の経済状況や感染状況をよく見て、必要な分を適切なタイミングで活用すると。

だから、それがこれに該当するというふうに考えてよろしいわけですね。

向井道宣総合政策課長

そのとおりでございます。

尼寺省悟委員

ということは、その時1億8,000万円と言われたんだから、それで、もう簡単に言ったら、1億8,000万円ぐらい活用しているので、この後についてはもうないと、これで終わりだということでもよろしいわけ？この分に関しては、もう全部、今回のあれで使ってしまったんだというふうな理解でもよろしいですか。

向井道宣総合政策課長

そのとおりでございます。

1億8,000万円繰り越しておりましたので、その分を今回使うということでございます。以上です。

尼寺省悟委員

これから先は、ここでこういう質問していいのかどうか分からんけれども、あのときに、必要な分を適切なタイミングで活用すると言われたんやけれども、今回のその分は、どういった形で使ってるかっていったら、クーポン券とかいろんな形になるんやけれども、私としては、はっきり言って、それだけじゃ不十分じゃないのかなと。

今のコロナの状況から見たときに、不十分じゃないのかなという気がするんですね。

例えば、佐賀市では、例の第2次佐賀市事業継続支援金、鳥栖市でも今年の春先には、50%以上とか20%以上とかいった形で10万円とか8万円とか、そういった形で支給したけれども、今回はそれがないと。

そういったことを含めてみて、何かそれだけで、この1億8,000万円だけで本当に大丈夫なのかと。

これから先、第4波とかいう形になるんで。

その辺のことを、ここであなた方に聞くのはどうかなと思うけど、その辺については、あの分だけで大丈夫という判断をしたからこういった、今度の、こうなったと思うんやけれども、その辺、ちょっとどうなんかなっちゃう思いがするんで、あえて質問するんやけど。

松雪努企画政策部長

先ほど総合政策課長も申しましたように、繰越しの分につきましては、今回のこのクーポンとか、あるいはdボタンとか、あとは減免とかいう形で、使っております。

尼寺議員おっしゃるように、我々も心配しておりますけれども、今後につきましては、国のほうの補正予算等も考えられるものというふうに私も理解しておりますので、そういう形を活用しながら、また次のステップが来たときには、また考えていきたいというふうに考えております。

尼寺省悟委員

私も今回の予算、反対する気持ちはさらさらしないんやけどね。そういった意味で、次は6

月の補正について、6月議会あるんだから、こういった形で予算が出されるのかということ
を注視していたいと思っておりますけど、そういうことです、以上です。

中川原豊志委員

情報発信の分で、地上デジタル放送のdボタンをというふうなことでありますけれども、
まず、KBCっていう話でしたけれども、KBCだけしかないのか。

ほかのテレビ局っていうのがないのかということと、契約期間もどのくらい考えてあるのか、
ちょっと教えていただきたいと思います。

山本英規情報政策課長

まず、1点目のサービスの実施放送局につきましては、現時点におきましてKBCのみが
行っているサービスでございます。

次に、契約期間につきましては、一応、今年度6月から翌年3月、今年度いっぱいまでを
現時点では予定しているところでございます。

中川原豊志委員

ということは、KBCしかやっていないということですね、まず。

契約期間は来年3月までということですがけれども、来年3月以降、コロナの状況だとか、
また、今日も飛松議員からもありましたけれども、災害とか、避難所とか、そういう情報も
使えるのであれば、来年度以降もっていうふうなことも考えはあるのかどうかだけ教えてく
ださい。

山本英規情報政策課長

中川原委員が申されましたとおり、コロナウイルスに関する情報以外の利活用もできます
ので、また次年度以降につきましては、改めてその契約については、検討したいと考えてお
ります。

以上でございます。

中村直人委員長

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を終わります。

以上で企画政策部関係議案の質疑を終了いたします。

執行部準備のため、暫時休憩をいたします。

午前10時42分休憩

いるのは、例のワクチンの問題なんだけれども、今、ワクチンの接種状況はどうなっているかとか、あるいは、政府も、菅首相もいろいろ言われるばってん、大体 65 歳以上とかで。

鳥栖市の場合、普通の人がいつ頃接種できるのか、その辺のことが分かれば教えてください。

石丸健一総務部長

今日、1,000 人程度以上が既に終わっているということで、しかし、その 1,000 人も今日現在なのかは、ちょっとあれですけども。

19 日現在で 1,000 人分来ているという報告は受けておりましたので、その分は確実にされているというふうに思ってます。

いつ頃というのは、それこそ、ワクチンの量がどのくらい、いつ来るかというのがはっきりしていないので、新聞報道では、6 月とか、5 月中とかいろいろ出ているかと思えますけど、その辺は、確実には把握できておりません。

尼寺省悟委員

鳥栖市のホームページには、例えば、医療従事者の中で何%できたのかとか、2 回目の接種がどうなるかとか、今、言われたこと以上のことについては、ついているのかな。

石丸健一総務部長

鳥栖市の場合、集団接種ではなくて、個々のかかりつけ医のほうで接種をしていただいておりますので、最終的にそこでどのくらい受けられたというのは、集計しないと、すぐは分からないというふうに思います。

ただ、鳥栖市に何人分のワクチンが来たというのは、把握できると思いますけど、何人受けられたかというところまでは、すぐに把握は難しいのかなというふうに思います。

尼寺省悟委員

コロナに関する庁舎全体の会議っちゅうのをやって、その中でいろんな形の報告っちゅうのは、なされているわけなんでしょう。

石丸健一総務部長

重要な案件については、コロナの本部会議が開催されて、その中で報告等がなされるようになっていきます。

そのほか、部課長会とか部長会とかありますので、必要な情報については、そちらのほうでも流すようになっております。

以上でございます。

中村直人委員長

よろしいですか。

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会総務文教常任委員長 中 村 直 人 印

